

第9回

日本バイオベンチャー大賞

大賞

ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社

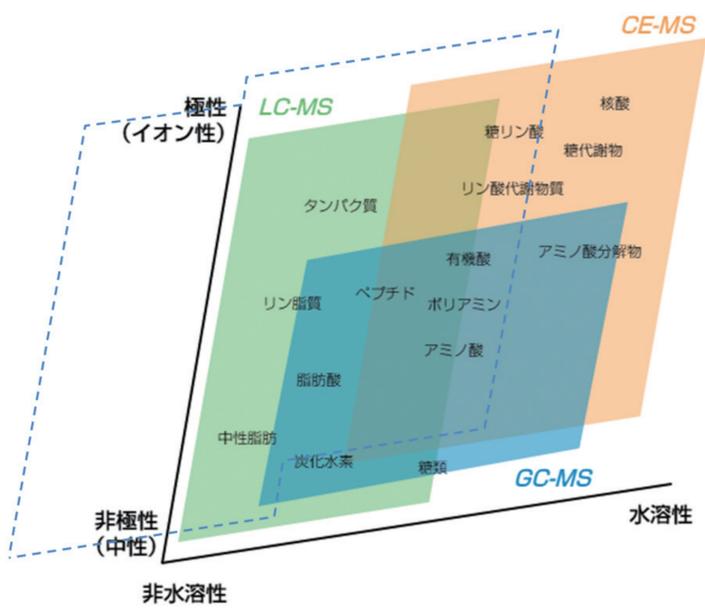
CE-MS法(キャピラリー電気泳動-質量分析計)と呼ばれる生体内の低分子代謝物質(メタボローム)を一斉にかつ網羅的に測定することが可能となる技術をベースとした慶応義塾大学発のバイオベンチャー企業。研究機関や製薬企業等からのメタボローム解析試験受託及びバイオマーカー(以下、BM)開発を中心事業として展開している。

メタボローム解析により新たなBM探索を行い、そのBMを用いた臨床検査薬の研究開発を進めており、診断薬企業等と協力して体外診断用医薬品として上市させ、マイルストーンや上市後製品売上ロイヤリティを収益としていくことを計画している。

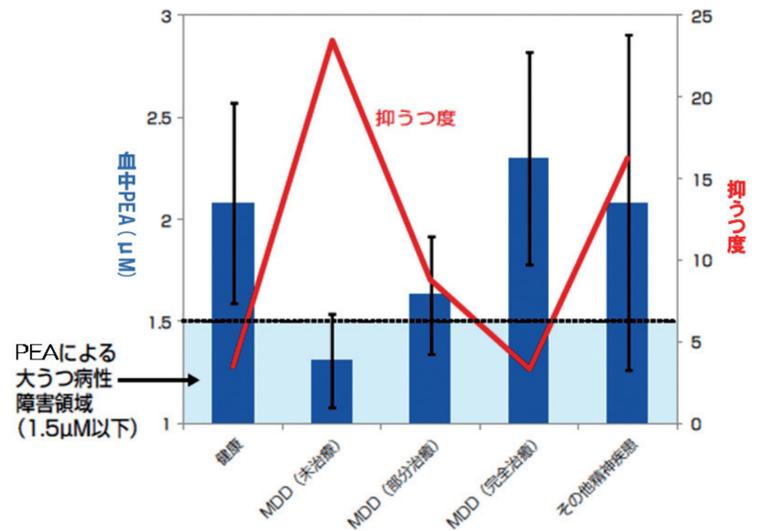
その中で、特に注力しているのは、うつ病バイオマーカーを活用した新たな臨床検査薬の開発である。大うつ病性障害の問診による診断は、医師や患者の主観が入る点で、他の病気と異なり、客観的な指標に基づく診断法が普及していない。そこで、当社は独立行政法人国立精神・神経医療研究センターとの共同研究により、大うつ病性障害の血液BMリン酸エタノールアミン(以下、PEA)を発見した。簡便的にPEAを測定する技術を確認し、製品化を進め、国内のみならず海外(北米・欧州・中国)への販売を加速させていく。

メタボローム解析事業を核とし、将来の成長ドライバーである大うつ病性障害BMを用いた診断薬開発で、中長期的な成長を目指している。

<分析手法とその測定対象物質>



<大うつ病性障害バイオマーカーの臨床性能> (当社作成)



MDD: 大うつ病性障害患者。
抑うつ度: ハミルトンの抑うつ尺度。7点以上で抑うつ症状があると判断される。
棒グラフは各被験者群の血中PEA平均値を示し、誤差(細い線)を併記した。

会社概要

設立	2003年7月
本社所在地	山形県鶴岡市覚岸寺水上246番地2
東京事務所	東京都中央区新川2-9-6 シュテルン中央ビル5階
	TEL : 03-3551-2180
資本金	12億4,243万円
代表取締役社長	菅野 隆二 氏